

I 日本語・日本事情教育：
日本研修・交流プログラム(年次報告(平成28年度後
期・29年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 案野, 香子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024873

日本研修・交流プログラム

案野 香子

1 日本研修・交流プログラムとは

日本研修・交流プログラムは、静岡大学が受け入れた短期留学生（大学間及び部局間交流協定に基づく交換留学生、日本語・日本文化研修留学生、教員研修留学生）のための1年間の日本語・日本事情プログラムである。学習内容には、「日本文化論」（日英両言語）や国際交流実習などによる日本文化や日本社会の体験や理解のほか、日本研修・交流プログラム修了研修を通じた1年の留学の成果の振り返りなどがある。所定の基準を満たせば交換留学生と日本文化研修留学生には単位が認定されるが、履修した単位は卒業単位には含まれない。

2 授業科目および内容

プログラム内容	講義・実習の別	授業時間数	単位数
日本研修・交流プログラム入門	講義	4	2
日本文化論	講義	4	
海外文化紹介	実習	24	
国際交流実習	実習		
日本文化体験実習	実習		
日本研修・交流プログラム修了報告書作成	講義	6	
留学成果発表会	実習	8	
合計時間		46	

3 レベル

日本語入門レベルから上級の学生まで受講することができる。

4 受講資格

静岡大学が受け入れた短期留学生（大学間及び部局間交流協定に基づく交換留学生、日本語・日本文化研修留学生、教員研修留学生）

5 受講定員

受講希望者全員を受け入れる。

6 試験および単位の認定

留学成果発表会が最終試験の代わりとなる。

また、日本文化論、国際交流実習（「V地域交流」参照）などの出席率も単位認定の基準となる。

7 平成28年度後期の受講生

18名の留学生在が履修し、16名の学生が留学成果発表会を行い、単位が認定された。

2017年静岡大学サマースクール

案野 香子

1 目的

サマースクール学生に対する日本語・日本事情の授業を行うことにより、受講生の日本語運用力を高めるとともに、静岡大学の学生をはじめとする日本人・各国留学生との交流を図り、相互理解を深める。

2 実施期間

2017年6月26日(月)～7月12日(水)

(このうち6月26日(月)から7月12日(水)の修了式までは静岡大学が企画・運営を行い、7月13日(木)以降の自由行動は各協定校の責任で企画・運営を行う。)

3 対象および受け入れ人数

韓国・朝鮮大学校	6名
アメリカ・ネブラスカ大学オマハ校	1名

4 レベル^{1) 2)}

〈初級〉静岡大学作成日本語力判定テスト50点程度（日本語能力試験N3程度相当）

〈中級〉静岡大学作成日本語力判定テスト80点程度（日本語能力試験N2程度相当）

※日本語力判定試験は100点満点

¹⁾ 上記初級レベルに満たない日本語力、および中級レベルをはるかに超える日本語力をもつ学習者は受け入れない。特に後者の学生には、静岡大学への半年～1年の特別聴講生としての留学を勧める。

²⁾ 静岡大学が渡日前日本語能力試験を作成、送付し、各大学において実施する。静岡大学にて採点し、テスト結果および選考結果を対象大学に送付する。